

●R5年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	課題の詳細	左記課題の解決のために本事業で取り組むこと	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
104485_昭和村	③学校と家庭の課題	放課後等における多様な体験活動	子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するため、放課後子ども教室という、安心安全な子どもの活動拠点(居場所)を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちにスポーツ・文化活動・地域住民との交流活動などの機会を提供しているが、協働活動サポーター(放課後子ども教室のサポーター)の人数の減少により、実施回数の減少や協働活動支援員(リーダー的なサポーター)の体力的・心理的な負担の増加が課題となっている。	・サポーターの募集を行う。 (村全域に募集する、現サポーターから声かけてもらう等)	・サポーターの人数の増加により、事業の実施が安定する。 ・見守りの目が増えるため、子どもたちがより安全に活動できる。 ・協力者の輪を広げ、地域で地域の子どもを守り育てるという住民意識が向上する。	協働活動サポーター(放課後子ども教室のサポーター)の人数	25	人	30	27	2 ・活動中のサポーターを通じて紹介していただき、放課後子ども教室の見学や内容説明等を行い、2名の増員となった。 ・サポーター同士の関係性や子どもたちの見守りという活動内容等も考慮すると、広く募集することは困難であることがわかった。 ・今後もサポーターの高齢化による人数の減少は想定されるため、安定した事業の実施に向けて、募集方法等についてサポーターと意見交換できる機会を設けるようにしていく。